

平成29年度 第1回学校 評議員会 記録

1 開会のことば

2 校長挨拶

学校評議員は学校としての説明責任を果たすための制度である。

児童生徒の健やかな成長を願い、地域に開かれた学校でありたいと考えている。様々な意見をいただき今後に生かしていきたい。

2月は学校評価の結果を示していく。

言葉や用語がわからないとよく言われる。保護者、地域の方にわかりやすい言葉で説明するように職員に伝えてある。

3 評議委員紹介

資料の通り

欠席 千田光久 様

佐藤伸哉 様

岡本紀巳雄 様

4 協議・報告

(1) 学校経営計画について

- ・教育目標 28年度まで「健康を大切にして、粘り強く行動する人」

→「心と身体の健康を大切にする人」とわかりやすく変更した。

- ・学校運営テーマ

「信頼」「尊重」「育ち合い」3つのキーワード。2つの学校をひとつにしたことが定着

→「学び」「つながり」「ひろがり」へ変更した。

- ・本校の特徴と課題

4障がいの学校。これは本校の特徴であり幅広い専門性を学べる場である。

- ・本校を取り巻く情勢の変化

生徒、保護者が学びやすい制度、環境が整った。

地域の実情に応じた教育。幅広いニーズに応える教育を強みとして学校運営をしていく。

震災を経験して私たちだからできる教育がある。避難訓練をまとめて報告書をつくり、他県で生かしてもらおう。

岩手病院の完成。新しい環境の場での整備。

千厩小学校は3月で閉校。計画は進んでいるが机上ではわからない環境整備をしていく。

周年行事は節目として10月に行う。

東北地区特別支援教育研究大会では本校の授業を提供する。

- ・「授業の最適化の追求」・・・授業で勝負していく。高等部の生徒は一人1台、タブレットを持っている。授業実践を積み重ねていく。
- ・「進路指導の充実」・・・高等部ばかりでなく小学部から情報提供をしていく。
- ・「連携と共働の強化」・・・支えてもらっている地域への情報発信。
- ・「安全・安心な環境作り」・・・災害に対する安全。いじめをなくすため、校内倫理委員会がある。安心して学べる場にする。

(2) 平成29年度教育活動について

①学部・分教室（パワーポイントについて）

②進路について

28年度高等部卒業生

進学 1名（専門学校）

就職 9名（内8名障がい者雇用）

福祉的就労 19名

未定 2名

③相談支援について

28年度 継続型相談訪問支援 65回

来校・電話での相談 112回

連携会議 33回

エリアコーディネイター 186回

5 学校評議委員会からのご提言

今野評議委員

- ・高等部卒業後の進路先として関わっている。昨年度初めて評議委員として卒業式等も参加した。持っていたイメージが180度変わった。4障がい、2校舎3分教室を様々な生徒に合わせて運営していく仕組みを見させてもらった。室蓬館では他の利用者と清明支援の卒業生と経験値の違いを感じる。清明の卒業生は作業、言動遊び、休日の過ごし方などよく知っている。スポーツ、芸術等の知識があり話題にもしている。作業の理屈もわかっている。発言では利用者の皆さんに意思を聞いているが、不満ではなく親切を受けた話、マフィンの作り方が上手だから学びたい。スポーツ大会も仕事もチャレンジする機会があれば積極的である。学校で学んだことが身につけている。
- ・経営計画の中の「合理的配慮の充実」について4障がい、2校舎3分教室、年齢も幅広い中一人一人の配慮を充実させるための話し合いが行われていると思う。昨年度新たにおこなったエピソードがあれば教えてほしい。

稲邊校長より

個別の教育支援計画を作成する際、保護者、本人から希望を聞いている。合理的配慮という言葉ではなく相談をしてもらっている。困り感に対して学びが保証できることについて説明を中心にしながら反映させていく。

星副校長より

各学部長がそれぞれの単位で学習をどうするか、例えば高等部のタブレットの利用についても一人一人内容が違う。そこを研究授業で詰めていく。これまでの実践をさらに意識して進めていく。

金野評議委員

聴覚の児童も一緒に学んでいて、式でも手話通訳、映像等で工夫している。配慮をどのようなところから決めているのか、自立支援協議会でも検討している。

佐々木評議委員

・統合前、最後の年、養護学校1年から保護者として11年目になる。それぞれの特色がありそれがまとまって清明としてできあがっているのではないかと感じている。各学部長の説明は丁寧さがよく伝わってきた。その時々により子供も保護者も課題があり先生と連携がとれていることに感謝している。

参加して知ることが大事でPTA活動に参加者が増えれば親の気持ち理解が深まる。

6 校長お礼のことば

今日いただいた提言を学校作りに生かしていく。学校は塾ではない。人を作っていくのである。組織のトップとしてリーダーシップを発揮していく。たくさんの情報量であり申し訳ない。正しい方向に向かっていることに手応え自信を持っている。卒業生もたくさん地域に出ている。活躍できるよう、地域を支える人を育てよう。保護者と職員が一体となり進めていく。欠席の3名の評議委員へも記録を伝えてご意見をもらい学校運営を進めていく。